

**BAU 2023  
ファイナルレポート**

国際建築・建材・建築システム専門見本市  
2023年4月17日(月)～22日(土)  
メッセ・ミュンヘン

2023年4月22日

**BAU は 4 年ぶりの開催を大成功で収める**

- 過去最高の出展者数、出展スペースは早々にソールドアウト
- 出展者と来場者から非常に高い評価
- 来場者の国際性が過去最高の水準


**Facts & Data**

会期	2023年4月17日(月)～22日(土) 9時30分～18時 (最終日は17時まで)
会場	メッセ・ミュンヘン
主催	メッセ・ミュンヘン (Messe München GmbH)
規模	全 19 ホール 200,000 m <sup>2</sup>
出展社数	49カ国から 2,260社 (2019年度:45ヶ国から 2,250社)
来場者数	190,000人 (2019年度:250,000人)
主な出展品	素材(亜鉛、アルミ、石<天然・人造>、ガラス、スチール・ハイグレードスチール、セラミックス、土、銅、プラスチック、木材)、化学建材(漆喰、絶縁材、接着剤、塗料、ニス、防熱・防寒・防火・防音材)、軽石、ファイバーセメント、コンクリート・多孔質コンクリート、タイル、瓦、レンガ、ケイ灰レンガ、エレベータ、エスカレータ、階段、屋根材、屋根窓、床仕上げ材、鍵、シリンダ、門、ドア、ドア枠、窓、シャッター、ブラインド、セキュリティ・侵入監視システム、ゲート・駐車システム、ゲート・ドア駆動技術、出入管理システム、エネルギー・ソーラー技術、太陽光発電、遮光・ファサードシステム、空調・換気技術、ガラス・プレハブ・木造建築、ビルディングオートメーション、アウトドアデザイン、空間コンセプト、建築関連ソフトウェア・コンピュータソリューション、サービス、業界誌 など
出展日本企業	オプテックス(株)、工機ホールディングス(株)、セイコーエプソン(株)、大日本印刷(株)、大和ハウス工業(株)、(株)鶴見製作所、(株)マキタ、三菱ケミカル(株) ほか
専用 URL	<a href="http://www.bau-muenchen.com">www.bau-muenchen.com</a> (英語/ドイツ語)

建築・建材・建築システムの国際見本市 BAU が 4 年ぶりに開催された。4 月 17 日から 22 日までの会期中、メッセ・ミュンヘンの会場で、19 万人もの来場者が、49 カ国からの出展者 2,260 社（2019 年は 45 カ国から 2,250 社）が紹介するイノベーションとトレンドについて情報を修得した。ドイツ各地の空港や公共交通機関などでのストライキにもかかわらず、今年は、会期中盤には既に 2019 年開催時の来場者数に相当するレベルに達するという大きな盛り上がりを見せた。また、2 カ月前に設置されたオンラインプラットフォーム BAU Insight 365-days も大きな話題となり、毎日 4 万人ほどの利用があった。



主催メッセ・ミュンヘン CEO のラインハルト・ファイファーとシュテファン・ルンメルは、「BAU が建設・建材業界にとってイノベーションを生み出す最も重要なビジネスプラットフォームであることを再び証明することができた。パンデミックによる 4 年間のビジネスの中断期間があったにもかかわらず、これまで以上に多くの企業や団体が出展した。このことは、2022 年の見本市再開時にも見られたように、特に主要な国際見本市に対する意識の高さを裏付けている」と話した。

BAU のアドバイザリーボード会長である Dieter Schaefer 氏は、「今年の BAU はこれまで以上に盛況だった。会期を 1 月から 4 月に変更するという判断は正しかった。展示ホールは、各社の出展で埋め尽くされ、世界各国からの来場者で溢れていた。4 年ぶりに戻ってきた BAU は間違いなく大成功だった。今後は例年どおり 1 月の開催に戻る予定だ」と述べた。

連邦建設大臣の Klara Geywitz 氏とバイエルン州経済大臣 Hubert Aiwanger 氏も BAU の会場を訪れ、「建設・建築関連の最大の国際見本市である BAU は、プランナーや建築・建設関係者にとって必須のプラットフォームだ。気候保護とそれぞれの課題をどのように調和させるか、例えば、手頃な価格の建物と生活との調和のさせ方などについては、ここで紹介されているイノベーションが必要だ。この見本市は、進歩、成長、競争力を象徴し、建築と都市計画の未来への道筋を創っている」と語った。



ドイツ建設業中央協会 (Central Association of the German Construction Industry) 専務理事の Felix Pakleppa 氏は、「デジタル・トランスフォーメーション、未来の住居、資源とリサイクル、モジュール建築といった今日の重要かつ最大の課題とトレンドが BAU 会場では網羅されていた。今年の BAU は将来への展望を示す素晴らしいプラットフォームとなった」と述べた。



### 出展者から非常に高い評価、来場者からも高い満足度

BAU のカムバックの成功は、民間保調査会社 Gelszus が実施した調査からも明白である。調査によると、出展者は、その 93%が今回の BAU を「良い」または「非常に良い」と評価し、91%は出展効果が高いと評価している。また、出展者の 90%が来場者の質について、同じく 89%が来場者幅広い国際性について高く評価している。一方、来場者は、その 98%が今回の BAU を「良い」または「非常に良い」と、最高の評価をした。

### 過去最高の国際性 ードイツ国外からの来場者割合が過去最高に

今回、ドイツ国外からの来場者は約 8 万人で全体の 40%を占め(2019 年は 37%)、過去最高の割合であった。国別の来場者数は、ドイツを除いて、トップから順に、オーストリア、イタリア、スイス、続いてポーランドとトルコからの来場が大幅に増えて 4 位、5 位となった。ここで特に強調しておきたいことは中国からの来場者数である。COVID-19 による国外への渡航規制が最近緩和されたばかりであるにもかかわらず、1,600 人あまりが来場し、トップ 10 にラインクインしている。

### 併催の会議プログラム、特別イベント、授賞式

BAU 2023 では様々な会議やイベントが開催された。著名な建築家によるプレゼンテーションやディスカッションに加え、特別ショーイベントやカンファレンスも開催され、参加者は建設・建築の世界について見識を深めることができた。また、「Auf IT gebaut (IT で築く、未来の建設業)」や「Balthasar Neumann Awar



次回の BAU は、2025 年 1 月 13 日から 18 日まで、メッセ・ミュンヘンの会場で開催される。また、digitalBAU conference + networking は 2023 年 7 月 4 日から 6 日までメッセ・ミュンヘンで、digitalBAU は 2024 年 2 月 20 日から 22 日までケルンで開催される予定であり、それぞれ建設ソフトウェア分野のソリューションや製品を紹介する。



詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ [www.bau-muenchen.com](http://www.bau-muenchen.com) まで

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.de](http://www.messe-muenchen.de) (英語 / ドイツ語)